

関係者各位

本日(7/20)12時43分、大飯発電所の中央制御室で、「大飯幹線1Lキャリアリレー動作」※の警報が発生するとともに、大飯3号機の発電機出力が瞬時に変動(マイナス約10パーセントからプラス約2パーセント)し、直ちに元の出力に戻りました。

※送電線の両端間を無線連絡している装置で、地絡等の不具合を感知した場合に送電を停止するためのもの

その後、大飯3号機、4号機の設備に異常がないことを確認し、12時56分に警報をリセットしています。

警報及び瞬時の出力変動の原因は、3号機で発電した電気を送る送電線(大飯幹線1L)に落雷が発生し、このため当該送電線の瞬時の遮断、再接続が自動的に行われ、これに伴い3号機において瞬時の出力変動が発生したものです。

なお、大飯幹線は2回線で構成され、もう1回線(大飯幹線2L)は落雷の影響は生じていない。

このような落雷に伴う送電線の瞬時の遮断・再接続及び発電機の瞬時の出力変動は、通常の復旧動作です。

設備の異常は発生しておらず、3号機の運転、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画通りに作業を進めても、安全上の問題はありません。

以上